【Ｒ１８】会話形式ノベル（台本仕様）

ＣＦＮＭ

『ズボン下ろしをした男子に

お仕置きをする女教師』

～登場人物の会話と心の声～

作：七条右京

【登場人物】

・中寺由真（なかでら　ゆま）：美人女教師

・宝来匠海（ほうらい　たくみ）：男子生徒

・藤堂真菜（とうどう　ま　な）：同じクラスの女子生徒

女教師。

色々な性格の女教師がこの世には存在する。

誰一人として、同じ性格の女教師はいない。

その性格から、生徒へのお仕置きも様々。

中寺由真は、ズボン下ろしをした男子にお仕置きをする。

〇2 年 2 組の教室

教室の中に入り、教卓を前にして立つ由真。

学級委員からの号令で、起立・礼・着席の動作。

中寺由真：

「授業を始める前に、宝来君と藤堂さん、前に来なさい」

匠海と真菜、前に出て行く。

由真：

「宝来君、藤堂さんにズボン下ろしをしたんだって？」

「藤堂さん、泣いて先生の所に相談しに来たの

よ」

「なんでも、パンツも一緒に下げられて、全部丸見えになったとか」

「その場にいた男子数人に、お尻も前も全部見られて凄く恥ずかしかったって、泣いて先生の所に来たのよ」

「宝来君、ズボン下ろしをした事に間違いないわね？」

宝来匠海：

「間違いないです」

「ごめんなさい」

由真：

「どうしてそんな事したのよ」

「藤堂さんにちゃんと謝りなさい」

匠海：

「藤堂さん、ごめんなさい」

藤堂真菜：

「宝来君、私、そんな謝り方じゃ許す事が出来ないわよ」

「私に、凄く恥ずかしい思いをさせて、それだけ？」

「先生、私、とっても悔しいです」

「宝来君に罰を与えて下さい」

由真：

「分かったわ」

「どんな罰を与えたらいいのかしら？」

真菜：

「先ず、私がされた様に、ズボン下ろしをして欲しです」

「私と同じ様に、パンツまで下げて」

由真：

「宝来君、藤堂さんがそう言ってるわよ」

「ベルトと前のホックを外して、ズボンを下ろしやすい様にしなさい」

その言葉に匠海、無言でベルトを外し、前のホ